

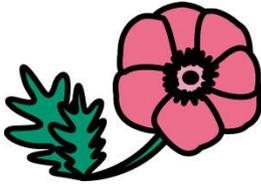


学校だより

4月号

～ まちのみんなひとつになあれ ～

令和3年4月7日



くさばな いや
「草花に癒されて」

学校長 後藤 直樹

4月1日の初出勤、コロナ禍での転勤ということでの不安や緊張がなかったと言えは嘘になります。しかし、その気持ちを一変させてくれたのが、校門へと続く坂道の横を飾っていた色とりどりの花々でした。保護者や地域の皆様に愛されている学校に違いないと、心が温かくなるのを感じました。そして、振り返ると高台からの素晴らしい景色には、思わず感嘆のため息がもれました。きっと6日の入学式にここを通った新入生たちも同じことを感じたに違いありません。そして、同時に私の目に飛び込んできたのは児童の昇降口に書かれている「まちのみんなひとつになあれ」という言葉でした。それが子どもたちの中から生まれ、引き継がれてきた教育理念であると伺い、感銘を受けました。

自己紹介が後になってしまいました。今年度、戸塚区より相武山小学校に校長として着任いたしました ごとう なおき 後藤 直樹 と申します。よろしくお願いいたします。私自身がこれまで大切にしてきた「主体的で体験を重視した学び」の中で、保護者や地域の協力は欠かせないものです。ボランティアのネットワークも充実していると伺い、頼もしく感じました。



さて、昨日の入学式でもお話しましたが、選挙権がもらえる18歳を大人と考えると、満6歳で入学し、満12歳で卒業していく6年間はちょうど真ん中となります。この間の心と体の成長には目を見張るものがあります。人格そのものが形成されていく大切な時期であると捉え、我々教職員一同は常に全力で取り組んでまいります。しかしながら、コロナ禍における活動の制約は、今しばらく続きそうです。市のガイドラインを守りながらも、子どもたちにとって最善の方法を模索しながら、有意義な1年間となるよう尽力してまいります。

どうか保護者、そして地域の皆様のご理解と温かいお力添えをよろしくお願いいたします。